

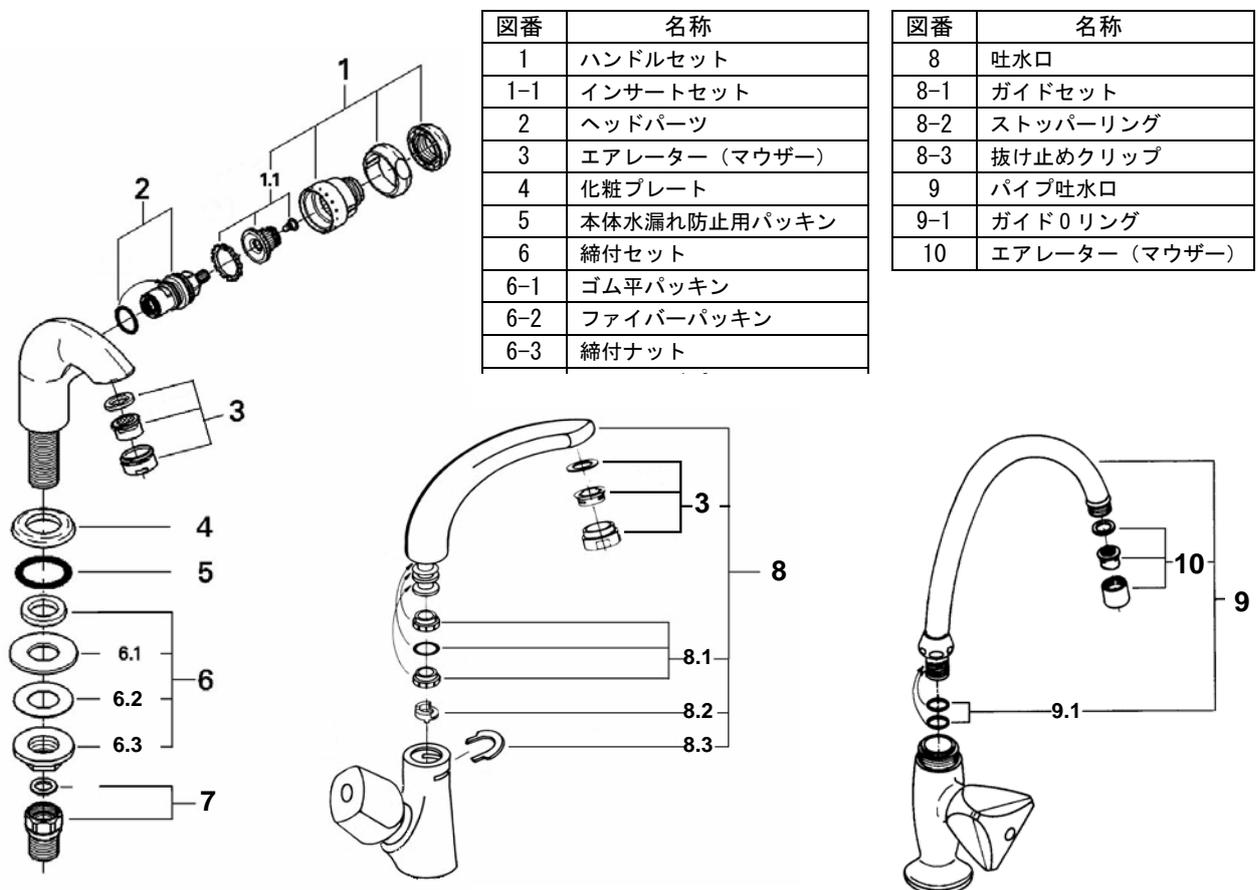
単水栓 施工説明書

	一般地用	寒冷地用
セントーサ	20044	
フロリダ	20607	
フロリダ	20604	
アトランタ	30830	
アトランタ	30831	
アラベスク	20105	
アラベスク	20106	20115

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



※カウンター穴あけ寸法はφ34～φ36で行ってください。カウンター厚 25mm 以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、レバーが閉じていることを確認してください。
※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.07Mpa [0.7kgf/c㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/c㎡])の範囲とします。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.07Mpa [0.7kgf/c㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/c㎡])の範囲とします。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されております。

ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/c㎡]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 逆止弁部分を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

施工前の注意

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

● 配管接続部を隠ぺいしないでください。水切棚に取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 給水（給湯）接続部、緩み防止の為、給水（給湯）配管は動かないように確実に固定してください。

施工手順

以下の手順で正しく取り付けてください。

1. 本体の取り付け

① 本体水漏れ防止用パッキン（図1参照）

本体取り付け前に本体締付部品を本体水漏れ防止用パッキン（Oリング）だけを残して本体から取り外してください。

② 本体の固定（図1参照）

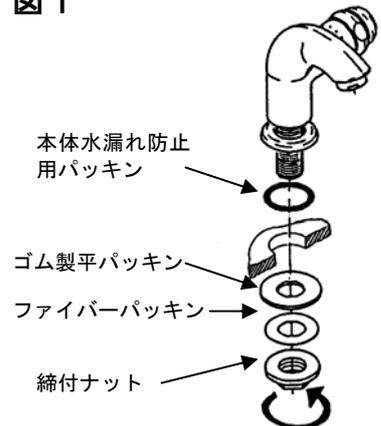
水栓本体をカウンター上部から取り付け穴に挿入します。

本体の取り付け方向を確認し、カウンターうらからゴム製平パッキン、ファイバーパッキンの順に挿入し、締付ナットで締め付けてください。
※ゴム製平パッキン、ファイバーパッキンがきちんと重なっていること、又、本体水漏れ防止用パッキンがずれて、取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。

※水栓本体が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。

※固定には市販のベイスレンチ等を使用して確実に締め付けてください。

図 1



2. 逆止弁の取り付け[一般地用](図2参照)

同梱の逆止弁（寒冷地用は無し）を本体の接続ネジにネジ込み確実に固定してください。

※締め付けは、200～300kgf・cm のトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水の原因になります。

3. 本体と止水栓の接続

● 市販の両側ツバ付きフレキホースを使用する場合(図3参照)

①市販の両側ツバ付きフレキホースを逆止弁に反対側を止水栓に接続してください。

※フレキホースが極端に折れないように注意してください。

フレキホースを曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、折れた部分から早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

※締め付けは、200～300kgf・cm のトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水の原因になります。

● グローエ接続パイプ、接続ナット1/2”とアダプターを使用する場合(図4参照)

①水栓本体の給水接続ネジに接続パイプを接続ナット1/2”で組み付けてください。

②接続パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げてください。

※本体接続部から50mm以内では、パイプを曲げないでください。

※接続パイプはなるべくゆるやかに曲げ垂直部分が長くなるようにしてください。

※接続パイプがつぶれないように注意してください。

③止水栓にアダプターを仮固定した後、接続パイプの差込代を20mm確保し、余った部分をパイプカッターにて切断します。またバリが出来た場合はバリを取り除いてください。

④接続パイプに袋ナット、テーパリング、座金、ゴムパッキンの順に入れて、アダプターを差し込んでください。

⑤次にアダプターを止水栓にネジ込み、確実に固定してください。

※締め付けは、200～300kgf・cm のトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水の原因になります。

⑥最後に、給水・給湯パイプを逆止弁（又はアダプター）にしっかり差し込み、袋ナットを手でいっぱい締め付けた後モンキーレンチ等で締め付けてください。

※締め付けは、200～300kgf・cm のトルクで行ってください。初期の締め付けが弱いと漏水の原因になります。

4. ハンドルの取り付け

ハンドルが本体にセット済みの機種を除き、同梱のハンドルを箱から取り出し、本体のインサートに真っ直ぐはめ込んでください。

インサートがセットされていない機種は、ハンドルを取り付ける前にインサートをスピンドルの軸にはめ込んでください。また、ビスがインサートに同梱されているものは、インサート取り付け後ビスで固定してください。

※ハンドルの回転がスムーズで容易に外れない事を確認してください。

5. 吐水口の取り付け[20604. 30830. 20106. 20115](図4参照)

● 20604の場合

①吐水口に付属してあるストッパーリングと抜け止めクリップを取り外し、ストッパーリングを本体の吐水口取り付け部に必要な吐水口の首振り角度に合わせて図4の通りセットしてください。

②吐水口を正面に向けて、本体に差込んでください。

③抜け止めクリップを吐水口取り付け部後部の切り込みにはめ込み、クリップが完全にはまるまでドライバーの柄などで完全にはまるまで押し込んでください。

● 30830. 20106. 20115の場合

①吐水口を正面に向けて、本体に差込んでください。

③吐水口取り付けナットを本体に締め込んでください。

図2

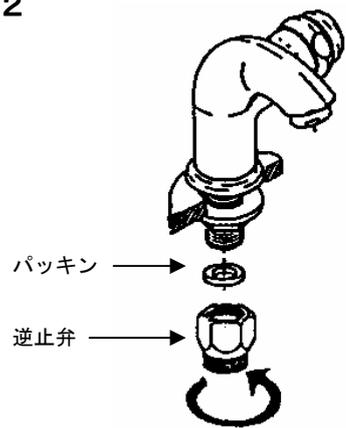


図3

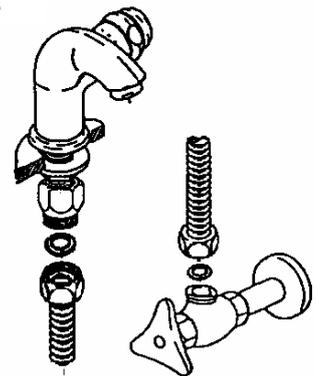


図4

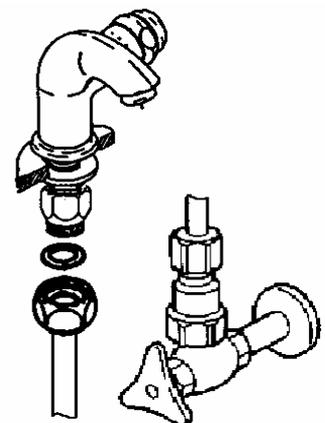
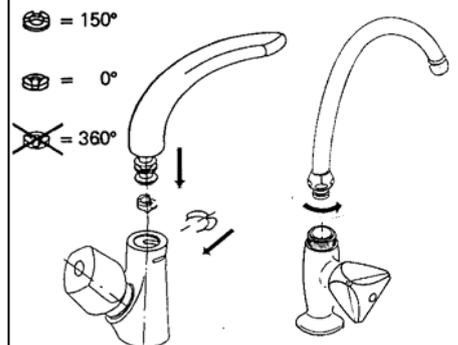


図5



取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

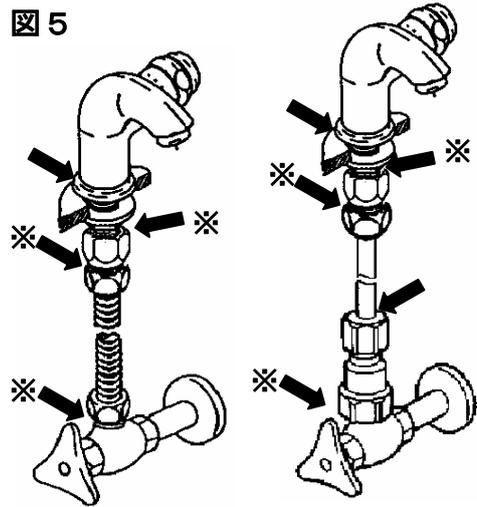
1. 接続部の水漏れ（図5参照）

吐水、止水を数回くりかえした後、図5の箇所を点検します。

- 止水栓とアダプターの接続部。
- アダプターと接続パイプの接続部。
- 逆止弁と本体の接続部。
- フレキホースと止水栓の接続部。
- フレキホースと逆止弁または、本体の接続部。
- 本体とカウンターの接続部

※特に、※印の部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締め付けを行ってください。

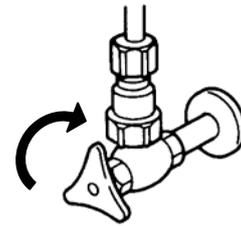
図5



2. 水量・湯温の調節（図6参照）

お使いいただく現場で、適量が得られるよう、止水栓で調節します。

図6



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2
水が止まらない	4. 5
ハンドルがガタつく	3. 7
カウンター上部に漏水する	5
カウンター内に漏水する	6

ヘッドパーツ

4. 十分締め付けてあるか
5. キズ・ゴミかみはないか

インサート止めビス

3. 十分締め付けてあるか

ハンドル

7. きちんとはめ込まれているか

整流器

2. ごみづまりはないか

※新品時はシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく洗い流してください。

清掃方法についてはお客様用取扱説明書をご参照ください。

本体水漏れ防止用パッキン
6. きちんと取り付けられているか

止水栓

1. 全開されているか

